

付 録

小 山 市 年 表

BC12,000 年以前	旧石器時代	○西ノ台遺跡・鉢形遺跡。石を打ち欠いただけの簡単な石器を利用して、狩りと採集の生活がはじまる。 ○土器の使用がはじまる。 ○弓矢の使用がはじまる。竪穴住居での生活がはじまる。
BC10,000年 ころ	縄文時代 草創期	
BC8,000年 ころ	縄文時代 早期	○寒沢遺跡。
BC4,000年 ころ	縄文時代 前期	○乙女北浦遺跡に人々が住みはじめる。気候が温暖になり、小山付近（野木・藤岡町）に貝塚が見られる。
BC3,000年 ころ	縄文時代 中期	○伝河原遺跡・寺野東遺跡。小山市域の各地で、このころの遺跡が多く確認される。
BC2,000年 ころ	縄文時代 後期	○雨ヶ谷宮遺跡。乙女北浦遺跡に大集落が営まれる。 ○寺野東遺跡に環状盛土遺構・木組遺構が造られる。
BC1,000年 ころ	縄文時代 晩期	○乙女北浦遺跡・井岡遺跡・寺野東遺跡。
BC100～ AD239年 300年	弥生時代 後期 古墳時代 前期	○乙女亀田遺跡。このころ、田間出土の小銅鐸がつくられる。 ○邪馬台国女王卑弥呼、魏に使を遣わし銅鏡100枚などを賜る。 ○萩山遺跡・溜ノ台遺跡。方形周溝墓がつくられる。
400年	古墳時代 中期	○成沢遺跡（豪族の居館跡）。 ○桑57号墳・茶臼塚古墳がつくられる。
500年	古墳時代 後期	○摩利支天塚古墳・琵琶塚古墳がつくられる。住居でのカマドの使用がはじまる。
600年		○このころ、飯塚古墳群・牧ノ内古墳群・下泉古墳群などの群集墳が、市域で多くつくられる。
700年ころ		○このころ、下野薬師寺が創建される。
708年	和銅元年	○和同開珎がつくられる。（飯塚44号墳から出土）
741年	天平13年	○聖武天皇、全国に国分寺・国分尼寺の設置を詔する。
747年	天平19年	○このころ下野国分僧寺・国分尼寺が創建される。
761年	天平宝字5年	○下野薬師寺に戒壇が設置される。（乙女不動原瓦窯から、薬師寺に瓦が供給された）
770年	宝亀元年	○弓削道鏡、下野薬師寺の別当となる。
773年	宝亀4年	○下野国府に火災がおこり、正倉14棟とたくさんの穀物を焼失する。
916年	延喜16年	○朝廷、下野国府に藤原秀郷ら18人の配流を重ねて下知する。
927年	延長5年	○『延喜式』成る。その神名帳の中に、安房神社（栗宮）・胸形神社（寒川）・高椅神社（高椅）が記載される。
929年	延長7年	○下野国府、朝廷に藤原秀郷らの乱暴を訴え、近国5ヶ国に出兵の官符が出される。
930年ころ	延長8年ころ	○『和名類聚抄』成る。その中に、都賀郡小山・生馬（生駒）、寒川郡真木（間々田付近）・池辺（寒川・網戸付近）の郷が見える。
939年	天慶2年	○平将門が下野国府を攻略し、占拠する。
940年	天慶3年	○藤原秀郷・平貞盛らが平将門を討ち取る。

1160 年ころ		○小山政光が小山に居館を構える。
1180 年	治承 4 年	○源頼朝が挙兵。寒川尼（政光妻）、隅田宿の頼朝陣営に参向。
1183 年	寿永 2 年	○志田義広が鎌倉の頼朝に反旗をひるがえす。小山朝政らが野木宮の戦いでこれをやぶる。
1184 年	元暦元年	○小山朝政ら木曾義仲討伐に従軍し、つづいて摂津一の谷に平家の軍勢をやぶる。のち源範頼に従い九州におもむき転戦。
1187 年	文治 3 年	○寒川尼が寒川郡ならびに網戸郷の地頭職に補任される。
1189 年	文治 5 年	○頼朝が奥州藤原氏を討伐。小山朝政ら従軍。小山政光、宇都宮で頼朝に駄餉（食事）を献ずる。
1199 年	正治元年	○頼朝死去。梶原景時が諸将の弾劾を受け失脚。小山朝政が播磨国守護職となる。
1205 年	元久 2 年	○宇都宮頼綱が幕府から謀叛の嫌疑をかけられる。小山朝政が追討を命ぜられるが、これを拒否する。
1218 年	建保 6 年	○小山朝政が日光中宮祠に宝殿を寄進する。
1333 年	正慶 2 年	○鎌倉幕府滅亡。
1335 年	建武 2 年	○小山秀朝が武蔵府中に北条時行の軍勢と戦い戦死する。足利尊氏が後醍醐天皇に反旗をひるがえし、小山氏もこれに与する。
1337 年	建武 4 年	○北畠顕家が宇都宮に本拠をおいて小山城を攻め、小山朝氏が捕らえられる。
1343 年	康永 2 年	○興良親王、大宝城から小山城に入る。
1372 年	応安 5 年	○小山義政が武蔵鷲宮神社を再興。
1380 年	康暦 2 年	○小山義政が蓑原（茂原）において宇都宮基綱と戦い戦死させる。鎌倉公方足利氏、これをとがめて小山を攻め、義政降伏する。
1381 年	永徳元年	○小山義政が鷲城に拠って再度挙兵するも、鎌倉公方に降伏する。
1382 年	永徳 2 年	○小山義政が三たび挙兵するも粕尾（栗野町）で自害。嫡子若犬丸は逃亡する。
1397 年	永徳 4 年	○小山若犬丸が鎌倉公方の軍勢に追い詰められ会津で自害する。このころ結城基光の子泰朝、小山氏を再興する。
1440 年	永享 12 年	○結城氏朝が足利持氏の遺児を擁して挙兵。小山持政は結城城攻めに加わり戦功を挙げる。
1563 年	永禄 6 年	○上杉輝虎（謙信）が祇園城を攻略。小山秀綱は降伏し、人質を越後春日山城に送る。
1576 年	天正 4 年	○北条氏照が祇園城を攻略。小山秀綱は常陸に逃れる。
1582 年	天正 10 年	○小山秀綱、北条氏から祇園城への復帰を許される。
1590 年	天正 18 年	○豊臣秀吉が北条氏の小田原城を攻略、天下統一成る。小山秀綱は北条方に味方したため領地を没収される。
1600 年	慶長 5 年	○徳川家康が会津の上杉氏を征伐に向かう途中、小山で石田三成が挙兵したとの報告を受け、軍議を開く（小山評定）。この後に関ヶ原の戦いで勝利する。
1608 年	慶長 13 年	○小山市の北西部地域において、榎本藩主本多忠純が検地を行う。
1613 年	慶長 18 年	○小山市域において、小山藩主本多正純（忠純兄）が検地を行う。
1617 年	元和 3 年	○家康の遺骸を駿河久能山より日光に改葬し、将軍秀忠が参詣。
1619 年	元和 5 年	○小山藩主本多正純が宇都宮へ転封。小山藩は廃藩となる。
1623 年	元和 9 年	○小山市域において、古河藩主永井直勝が検地を行う。

1637 年	寛永 14 年	○小山市東部地域において、幕府が検地を行う。
1663 年	寛文 3 年	○小山宿で大火。
1664～65 年	寛文 4～5 年	○小山市域において、古河藩主土井利重が検地を行う。
1689 年	元禄 2 年	○松尾芭蕉が「奥の細道」の旅に出、途中間々田宿に泊まる。下野国内では室の八島ほかを巡歴する。
1696 年	元禄 9 年	○日光街道の助郷制が確立する。
1744～46 年	延享元～3 年	○思川・鬼怒川通りにおいて、幕府が流作場の検地を行う。
1749 年	寛延 2 年	○迫間田・寒川村、田方の儀につき強訴する。翌年名主が退役を命ぜられる。
1750 年	寛延 3 年	○小山宿と助郷 22 ヶ村の争論おこる。
1759 年	宝暦 9 年	○古河藩中郷（小山西部・大平東部の村々）で一揆おこる。
1771 年	明和 8 年	○小山市域で大ひでりがつづく。
1777 年	安永 6 年	○思川、雨降りにつき大満水となる。
1781 年	天明元年	○思川、雨降りにつき大満水となる。
1783 年	天明 3 年	○思川、雨降りにつき大満水となる。
		○浅間山の大噴火で、小山市域にも火山灰が 3～10cm 降る。日中あかりが必要であったといわれる。
1786 年	天明 6 年	○思川、大満水となる。
1787 年	天明 7 年	○夏より秋まで大飢饉。黒本村では根・長芋・山芋などほりつくす。
1791 年	寛政 3 年	○古河領の百姓、年貢用捨米を願って乙女不動原へ集合する。
1800 年	寛政 12 年	○伊能忠敬が「蝦夷地測量」（第一次測量）の帰路 間々田宿に泊まる。
1801 年	享和元年	○伊能忠敬が「全国測量」（第二次測量）の帰路 間々田宿に泊まる。
1803 年	享和 2 年	○伊能忠敬が「全国測量」（第三次測量）の往路 間々田宿に泊まる。
1823 年	文政 6 年	○水戸藩士小山秀斐、日光代参後小山宿天翁院にて法事を行う。その翌日の旧臣御目見得を行う。
1827 年	文政 10 年	○関東御取締出役下山逢吉出張にて小山宿最寄 42 ヶ村組合結成される。
1833～36 年	天保 4～7 年	○天保の大飢饉。このころ村々の人口減少が極限に達し、全国的に農村が荒廃する。
1840 年	天保 11 年	○水戸藩主徳川斉昭の追鳥狩りに、小山氏の旧臣 200 人が参加する。
1862 年	文久 2 年	○坂下門外の変。大橋訥庵が連座する。
1864 年	元治元年	○水戸天狗党約 300 名が結城より小山に着く。壬生へ向かうが壬生藩の厳しい警備のため、飯塚宿に宿泊する。
1868 年	慶応 4 年	○生駒村へ近郷困窮人が集まり、付近の豪農に対し米金差し出しを強要する。
	明治元年	○戊辰戦争。旧幕府軍の大鳥圭介・土方歳三らが、小山で官軍と激戦をまじえる。
1871 年	明治 4 年	○各藩が県になる（廃藩置県）。下野国は栃木・宇都宮の 2 県となる。
1872 年	明治 5 年	○学制発布。小山郵便局が設けられる。
1873 年	明治 6 年	○宇都宮県が栃木県に合併される。
		○地租改正条例布告。小山に警察出張所が設けられる。
1885 年	明治 18 年	○東北本線の大宮～宇都宮間開通。小山駅開業。
1888 年	明治 21 年	○両毛線の小山～足利間開通。
		○市制・町村制が公布される。

1889 年	明治 22 年	○寒川郡が下都賀郡に編入される。 ○町制が施行され、常光寺に町役場が置かれる。
1899 年	明治 32 年	○栃木新道ができ、思川に架橋される。
1911 年	明治 44 年	○小山町役場の庁舎落成。
1913 年	大正 2 年	○小山にはじめて電灯がつく。
1922 年	大正 11 年	○4 月 1 日間々田村が町制を施行。
1926 年	大正 15 年	○2 月 24 日琵琶塚古墳が国指定史跡となる。
1931 年	昭和 6 年	○日本無線電信、神鳥谷に小山送信所を開設。
1934 年	昭和 9 年	○小山駅が新築される。
1936 年	昭和 11 年	○3 月 31 日栃木県庁焼失。 ○11 月観晃橋、木造からコンクリートの永久橋に改築。 ○12 月大谷村役場新築。
1938 年	昭和 13 年	○7 月小山・絹・穂積・間々田・生井の各地で水害発生。 ○10 月 3 日栃木県庁再建。
1941 年	昭和 16 年	○7 月台風により生井地区に大被害。
1943 年	昭和 18 年	○足利銀行小山支店新築。
1944 年	昭和 19 年	○4 月県内への疎開者 2 万人を超える。 ○11 月小山駅前の強制疎開はじまる。
1945 年	昭和 20 年	○3 月小山町で大防空壕がつくられる。
1946 年	昭和 21 年	○10 月小山地区商工会議所の設立総会開催。
1947 年	昭和 22 年	○3 月豊田村で県内初の農地解放行われる。 ○9 月 5 日昭和天皇、小山町を巡幸。 ○9 月 15 日キャサリン台風、生井村に大きな被害を与える。
1948 年	昭和 23 年	○3 月小山町商店街で「三夜通り」の名称が使われはじめる。
1949 年	昭和 24 年	○1 月県内各市町村で第 1 回目の成人式が行われる。
1950 年	昭和 25 年	○12 月 15 日東北本線と水戸線を結ぶ小山短絡線新設。
1951 年	昭和 26 年	○観晃橋南の思川河原を会場に納涼花火大会開催。
1953 年	昭和 28 年	○2 月絹村に県立結城紬指導所設置。
1954 年	昭和 29 年	○3 月 31 日小山町・大谷村が合併して小山市が誕生。初代市長に山中泰輔氏就任。日本専売公社葉たばこ再乾燥工場、稲葉郷に設立。 ○市営野球場完成する。
1955 年	昭和 30 年	○2 月 11 日豊田、穂積、中村が合併して美田村誕生する。4 月 25 日 間々田町、生井村合併して、新しい間々田町誕生する。12 月 1 日美 田村大字外城、小山市に編入される。
1956 年	昭和 31 年	○9 月 30 日寒川村、間々田町に合併、桑村、絹村と合併して桑絹村と なる。
1958 年	昭和 33 年	○東北本線上野～宇都宮間電化される。 ○山中市長再選。
1960 年	昭和 35 年	○6 月 10 日両毛線複線化期成同盟会が発足する。
1961 年	昭和 36 年	○小山市街地に上水道完成する。 ○市街地開発組合発足し、工場団地造成に着手する。 ○7 月 1 日桑絹村が町制を施行。

1962 年	昭和 37 年	○山中市長 3 選。 ○5 月 1 日小山第一保育所開所。
1963 年	昭和 38 年	○4 月 18 日間々田町及び美田村、小山市に合併する。
1964 年	昭和 39 年	○10 月 31 日市役所庁舎、大字小山 2315 番地に竣工する。(現中央町 1 丁目 1 番 1 号) ○11 月 25 日市制施行 10 周年記念祝賀式を挙る。
1965 年	昭和 40 年	○4 月 1 日旧市内住居表示実施。 ○4 月 10 日小山第二保育所開所。 ○4 月 13 日寒川出張所改築工事完成。 ○4 月 24 日小山工業高等専門学校開校。 ○8 月 27 日小山地区し尿処理場竣工。 ○9 月 30 日桑絹町小山市に合併。 ○10 月 10 日小山バイパス開通 (現国道 4 号)。
1966 年	昭和 41 年	○3 月 1 日小山市農協発足。 ○4 月 29 日市長に山中泰輔氏 4 選。 ○6 月 22 日第二 4 号国道古河・宇都宮間建設促進期成同盟会が発足する。 ○8 月 1 日少年補導センター開設。 ○9 月 30 日永久選挙人名簿確定。 ○11 月 12 日国道 50 号線バイパス建設促進期成同盟が発足する。
1967 年	昭和 42 年	○1 月 1 日国保世帯員 7 割給付。 ○4 月 1 日市民相談室を開設。 ○4 月 1 日小山・間々田・美田農業共済組合合併。 ○5 月 8 日栃木市大光寺に農耕用ダム完成。 ○11 月 1 日国保病院基準看護を実施。
1968 年	昭和 43 年	○1 月 23 日食肉センター完成。 ○2 月 23 日消防庁舎竣工。 ○4 月 1 日栃木県交通災害共済発足。 ○4 月 23 日社会福祉法人小山市社会福祉協議会発足。 ○5 月 5 日第一回選抜自治会対抗少年ソフトボール大会で小宅自治会チーム優勝。 ○5 月 21 日間々田局の電話自動化。 ○5 月 25 日養護老人ホーム「延寿荘」竣工。 ○7 月 14 日市営野球場横倉工場団地に仮移設。 ○7 月 31 日小山高等学校が作新学院を 5-1 で破り甲子園初出場なる。 ○7 月 31 日中央町 1 丁目 X 字型横断歩道橋完成。 ○10 月 1 日両毛線電化。 ○12 月 23 日南半田住宅団地を小山市扶桑町とする。
1969 年	昭和 44 年	○1 月 6 日小山駅東臨時改札口が出来る。 ○5 月 10 日小山市交通指導員制度が発足、19 名が委嘱される。 ○6 月 10 日小山市の人口 10 万人となる。10 万人目は中央町の山中清さんの長男彰ちゃん、市からベビーカーを贈る。 ○10 月 6 日羽川小学校に交通安全教育センターができる。 ○12 月 23 日小山第一小学校移転新築工事竣工。

1970 年	昭和 45 年	○ 2 月 19 日小山駅東土地区画整理事業が総工費 4 億 6 千 3 百万円で完成。 ○ 3 月 13 日小山市から暴力を追放して「明るく住みよい小山市の建設」を議会で議決し市・町内ぐるみ運動を展開する。 ○ 4 月 29 日第 5 代目小山市長に栗田政夫氏初当選。 ○ 5 月 1 日ごみの収集を一部民間委託。 ○ 6 月 10 日若木町 3 丁目、駅東通りを住居表示実施。 ○ 6 月 13 日間々田保育所が完成。
1971 年	昭和 46 年	○ 6 月 16 日千駄塚で運搬中の塩素ガスが爆発。 ○ 1 月 20 日蒸気機関車 C50 小山号駅東公園へ展示。 ○ 1 月 26 日市立小山病院の新病棟が完成。 ○ 2 月アカシヤコース（ハイキングコース）が完成。 ○ 3 月小山市振興計画基本構想（46～55 年）及び第一期基本計画（46～50 年）を策定する。 ○ 4 月 27 日小山市と喜連川町の両穂積が姉妹地区の縁結びを行う。 ○ 5 月 14 日栃木県東北新幹線対策協議会が発足する。 ○ 6 月 15 日老人福祉センター開設。 ○ 6 月小山市振興計画（46～55）が出来る。 ○ 7 月 26 日市、企業二者間の公害防止協定を締結。 ○ 10 月小山市の市旗を制定。 ○ 10 月 12 日東北新幹線小山駅停車が決定。
1972 年	昭和 47 年	○ 1 月 1 日老人医療費の公費負担が実現。 ○ 1 月 28 日小山市褒章勲章会が発足。 ○ 2 月 7 日小山市のスローガン「伸ばそう小山、築こう文化」が決まる。 ○ 4 月 1 日小山園芸高校開校。（現・小山北桜高校） ○ 4 月 1 日小山市武道館開館。 ○ 4 月 1 日消防本部桑分遣所開所。 ○ 4 月 1 日小山第三保育所開所。 ○ 4 月 1 日乳児医療費の無料化実現、同 10 月 1 日所得制限が撤廃される。 ○ 4 月 3 日間々田公民館改築工事が完成。 ○ 4 月 6 日小山第一小学校と小山第二小学校に市内初のスクールゾーンが設定される。 ○ 5 月 8 日小野藤土地改良区が発足。 ○ 6 月 1 日勤労青少年ホーム開館。 ○ 6 月 1 日栃木県紬織物指導所移転改築工事が完成。 ○ 7 月 14 日間中地内でナウマン象の第 3 臼歯の化石が発見される。 ○ 7 月 15 日小山地区広域行政圏が指定される。（小山市、野木町、国分寺町、南河内町） ○ 7 月 17 日小山大橋が開通。 ○ 7 月 25 日向野地内で小山運動公園の建設に着工。 ○ 12 月 25 日東北新幹線の建設に着工。

1973 年	昭和 48 年	○ 2 月 21 日城南宅地造成事業の保留地公売に上限価格を設定。(全国で初めて) ○ 2 月 22 日田川放水路が完成。 ○ 3 月 31 日し尿処理場増設工事が完成。 ○ 4 月 1 日駅南町の住居表示を実施。 ○ 4 月 1 日旭小学校開校。 ○ 4 月 1 日小山土地開発公社が市庁舎内に発足。 ○ 5 月 31 日間々田中学校で市内初の光化学スモッグの被害者が出る。 ○ 7 月市民生活を明るくする会が発足。 ○ 7 月プール未設置校 9 校にプール完成。 ○ 9 月 23 日運動公園に初めての施設として野球場がオープン。 ○ 10 月 15 日小山地区広域行政組合北部清掃センターが操業開始。 ○ 11 月 1 日扶桑町の住居表示を実施。
1974 年	昭和 49 年	○ 昭和 48 年の交通事故発生状況が発表され全国 10 万人以上の都市における交通事故死亡率が全国一となる。 ○ 1 月 1 日国保の高額療養費支給制度を開始。 ○ 1 月はしご付き消防ポンプ自動車を配置。 ○ 1 月延島小学校に交通安全教育センターが完成。 ○ 3 月小山市振興計画第二期基本計画(49～53 年)策定する。 ○ 4 月 1 日白鷗女子短期大学開校。 ○ 4 月 21 日市長選挙栗田政夫氏再選なる。 ○ 5 月 1 日城東保育所開所。 ○ 6 月 1 日もみじ保育所開所。 ○ 6 月小山第二小学校、豊田北小学校の改築工事が完成し、新校舎に移転。 ○ 6 月 12 日第二工業団地の企業と市の間で公害防止協定に調印。 ○ 6 月 20 日勤労青少年ホームに体育センターが完成。 ○ 10 月スポーツ事故見舞金制度が出来る。 ○ 10 月自然災害に弔慰金と救護資金貸出制度が出来る。 ○ 10 月 4 日中島橋促進期成同盟が発足。 ○ 11 月 3 日小山地区休日急患診療所が医師会病院内に発足。 ○ 11 月 20 日小山地区県立高校増設期成同盟会が発足。 ○ 11 月 23 日小山おはやし振興会で初のおはやしコンクール実施。 ○ 12 月 26 日乙女土地区画整理組合が発足。
1975 年	昭和 50 年	○ 1 月 20 日第一あけぼの土地区画整理組合が発足。 ○ 2 月 3 日下生井郵便局が上生井に移転し上生井郵便局になる。 ○ 4 月 1 日小山運動公園に陸上競技場がオープン。 ○ 4 月 1 日間々田駅東地区が住居表示によって「暁 1～3 丁目」となる。 ○ 4 月 1 日出井街道(市道 13 号)の東北線との立体交差が完成。 ○ 4 月 1 日法務大臣より間々田地区が「人権モデル地区広域指定」される。

1976 年	昭和 51 年	○4 月 3 日乙女小学校開校。 ○4 月 11 日小山地区広域行政事務組合による中央清掃センター（外城）完成。 ○4 月 21 日小山公共職業安定所が本郷町 2 丁目から若木町 1 丁目に移転し業務を開始。 ○5 月 12 日中久喜保育所開所。 ○9 月 1 日印鑑登録制度を改正。 ○9 月 20 日都市総合交通規制を実施。 ○10 月 10 日間々田中央商店街の歩道が完成。 ○10 月あさひ地区が県のモデルコミュニティー第 1 号に指定される。 ○11 月 23 日小山市桑養蚕組合養蚕部門で天皇杯。 ○11 月 23・24 日小山市商工祭で初めての歩行者天国を実施。 ○2 月 5 日長崎屋小山店において特設行政相談所を開設。 ○3 月 28 日第 1 回関東郷土芸能おはやしコンクール実施。 ○3 月 31 日小山第二中学校増改築工事が完成。 ○4 月 1 日桑絹地区有線放送廃止。 ○4 月 1 日「小山市史」編さん事業がはじまる。 ○4 月 1 日老人向け貸農園スタート。 ○4 月 6 日第 48 回全国選抜高校野球大会で小山高等学校が準優勝。 ○5 月 31 日網戸保育所開所。 ○6 月 1 日水処理センター通水式。（若木町、八幡町、天神町の各 1、2 丁目、花垣町 1 丁目の一部で供給開始） ○7 月 29 日小山高等学校が足利学園を 4-0 で破り 8 年ぶり 2 回目の甲子園出場となる。 ○8 月 7 日”市民の殿堂”中央市民会館建設に着工。 ○8 月 15 日豊田南小学校が改築完成。 ○10 月 1 日ひとり暮らしの老人を対象に福祉電話スタート。 ○12 月小山市振興計画基本構想(52~60 年)及び前期基本計画(52~55 年)を策定する。
1977 年	昭和 52 年	○1 月 26 日東北新幹線に第 1 号ロングレール敷設される。 ○1 月 28 日乙女不動原瓦窯跡確認調査行われる。 ○3 月 1 日市立小山病院で、最新鋭の「頭けい部レントゲン断層撮影装置」を導入。 ○4 月 1 日社会福祉協議会で、高額療養費等のつなぎ資金の貸付はじまる。 ○4 月 1 日城南区画整理事業記念会館完成。 ○4 月 1 日栃木県渡良瀬遊水地開発推進協議会が発足。 ○4 月 4 日小山城東小学校開校。 ○4 月 5 日羽川西小学校開校。 ○4 月 11 日若木保育所開所。 ○6 月 20 日市体協山岳部一行 9 名、北米マッキンリーに登頂。 ○8 月 18 日洪水により観晃橋が陥没。

1978 年	昭和 53 年	○ 8 月 25 日農家憲章を制定。 ○ 9 月 1 日旧紬織物指導所が絹文化研修所にも替え。 ○ 10 月 27 日黒本橋開通。(旧黒本橋の約 1 キロメートル上流) ○ 3 月千駄塚に市営住宅完成。(初年度分) ○ 4 月 1 日国体室を開設。 ○ 4 月 5 日栃の葉会館がオープン。 ○ 5 月 3 日市道喜沢一中久喜線の東北本線との立体交差仮開通。 ○ 5 月 4 日出井保育所開所。 ○ 5 月 10 日旧中央公民館取り壊す。 ○ 5 月 11 日乙女不動原瓦窯跡が国指定史跡となる。 ○ 5 月 31 日小山駅舎新装なる。 ○ 6 月 5 日東北新幹線の試運転はじまる。 ○ 7 月 10 日中央市民会館オープン。 ○ 7 月 10 日市民憲章、市の花(オモイガワザクラ)、市の木(シラカシ)、市の鳥(セグロセキレイ)、市歌、小山音頭を制定。 ○ 7 月 21 日摩利支天塚古墳が国指定史跡となる。 ○ 7 月 31 日小山郵便局が城山町 3 丁目から城東 1 丁目に移転。 ○ 8 月 15 日中小学校・穂積小学校の全面改築完成。 ○ 10 月 17 日城東土地区画整理地区の住居表示を実施。(城東 1 ～ 7 丁目まで)
1979 年	昭和 54 年	○ 1 月 15 日第 1 回市民マラソン大会開催。 ○ 2 月間々田駅の橋上化完成。 ○ 3 月 31 日城東区画整理事業完了。 ○ 3 月 31 日小山市街地開発組合解散。 ○ 4 月 7 日小山南高等学校開校。 ○ 5 月 1 日粗大ゴミ処理施設操業開始。 ○ 5 月 9 日間々田北保育所開所。 ○ 5 月 11 日消防署間々田分署移転新築。 ○ 5 月 25 日第 1 回防犯運動実施。 ○ 6 月 30 日小山運動公園にクラブハウス完成オープン。 ○ 小山市の工業生産額が宇都宮市を抜き県内 1 位となる。(53 年工業統計調査) ○ 11 月 23 日県内で初めてボランティアグループにより「わたぼうしコンサート」開かれる。 ○ 11 月 27 日渡良瀬遊水地国営公園建設促進周辺地域連絡協議会発足。 ○ 12 月 7 日東北新幹線小山試験線で電車のスピード世界新記録 時速 319km をマーク。
1980 年	昭和 55 年	○ 1 月 1 日市立小山病院と下都賀郡市第 2 医師会病院が統合し小山市市民病院誕生。 ○ 3 月 1 日在宅寝たきり老人のためにディサービス事業開始。 ○ 4 月 1 日中公民館が南小林から下河原田の現在地へ新築移転。 ○ 4 月 4 日小山第三中学校開校。

1981 年	昭和 56 年	○4月5日あけぼの保育所開所。 ○4月13日駅南児童センター開館。 ○4月17日島田橋開通。 ○5月2～5日中央市民会館で「ミレーとバルビゾンの画家たち展」が行われ入場者数12,945人にのぼる。 ○5月31日間々田小学校老朽危険校舎増改築工事完成。 ○7月ボランティア連絡協議会発足。 ○8月雑排水浄化装置の設置者に補助金30%の制度実施。 ○9月中央清掃センターに排水処理施設が完成し正式稼働。 ○10月12～17日栃の葉国体秋季大会実施。(小山市はウェイトリフティング、テニスの2種目を実施) ○11月2日全日本吹奏楽コンクールで間々田中学校が銀賞を獲得。 ○11月9日休日急患歯科診療所が開所。 ○12月16日立木満願寺の朝日松(県指定天然記念物)が枯死のため指定解除。 ○3月国土利用小山市計画を策定する。(50～65年) ○3月小山市振興計画後期基本計画を策定する。(56～60年) ○4月城北保育所開所。 ○4月大谷公民館の建替工事完成開館。 ○4月3日小山第三小学校開校。 ○4月市役所第二庁舎(旧郵便局舎)へ福祉部、教育委員会が移転。 ○4月特定行政庁を設置、建築確認を市で実施。 ○6月26日小山中学校が新設移転。 ○6月小山西変電所が本郷町1丁目に完成。 ○9月小山のおはやしがハワイでの「アロハウィーク」に招待参加し活躍。 ○10月助役二人制スタート、新助役に長瀬親次郎氏が就任。 ○11月第1回評定マラソン開催。
1982 年	昭和 57 年	○1月小山地区環境衛生センター増設工事完成稼働開始。 ○1月福祉タクシー制度スタート。 ○東北新幹線建設に伴う工事用通路の維持管理について国有鉄道と覚書を締結。(57～62年) ○4月小山城南小学校開校。 ○4月城北児童センター開館。 ○4月桑公民館の建替工事完成開館。 ○5月31日東北本線中距離輸送力増強促進期成同盟会が発足。 ○6月23日東北新幹線暫定大宮駅始発として開業同日小山駅開業。 ○6月29日羽川西浄水場仮通水。 ○10月1日～24日市民会館において当市出身の「菊川京三翻刻模写絵展」開催。 ○11月1日保健・福祉センター開館。 ○11月1日小山市民病院増改築完成。
1983 年	昭和 58 年	○3月1日名誉市民小平久雄氏顕彰式。

1984 年	昭和 59 年	○ 3 月 13 日市立博物館開館。 ○ 4 月 5 日小山城北小学校開校。 ○ 4 月広域行政、保健予防、環境衛生の 3 組合を統合し小山広域保健衛生組合が発足。 ○ 4 月小山職業訓練短期大学校開校。 ○ 4 月穂積公民館の建替工事完成開館。 ○ 5 月桑中学校増改築工事完了。 ○ 6 月全国第 1 号の羽川歩道橋が取り壊される。 ○ 7 月萱橋小学校増改築工事完了。 ○ 8 月間々田中学校吹奏楽部と間々田青少年吹奏楽団がイギリスの国際青少年音楽祭に招待出演。 ○ 9 月市シルバー人材センターが業務開始。 ○ 9 月 12 日雇用促進住宅雨ヶ谷宿舍竣工。 ○ 11 月 1 日消防署大谷分署始動。 ○ 11 月羽川西小学校 PTA が文部大臣賞受賞。 ○ 1 月市青年会館が横倉地内に開館。 ○ 2 月 20 日豊田公民館建替工事完成開館。 ○ 3 月 31 日小山市制施行 30 周年。 ○ 4 月若木小学校、間々田東小学校開校。 ○ 4 月体の不自由な人への市立図書館の宅配制度がスタート。 ○ 4 月網戸小学校の移転、全面増改築工事が完成。 ○ 5 月間々田小学校が全日本少年サッカー大会県予選で初優勝。 ○ 5 月 17 日栃木県北関東横断道路建設促進協議会が発足。 ○ 6 月小山高等学校が全国総体県予選のテニス男子団体が優勝。 ○ 7 月中クラブが全日本学童野球大会県予選で初優勝。 ○ 7 月 KDD の小山新中央局舎が完成。 ○ 8 月 21 日栗田政夫市長退任。 ○ 8 月 6 日大字小山・神鳥谷の一部が住居表示によって三峯・神山となる。 ○ 8 月松沼が県学童少女ソフトボール大会、関東小学生ソフトボール大会で優勝。 ○ 9 月 30 日小林武夫氏が市長就任。 ○ 10 月水道事業第三次拡張工事完成通水式。 ○ 11 月扶桑水处理センターで通水式。 ○ 11 月 14 日市制 30 周年記念式典開催。 ○ 12 月小山市交響吹奏楽団がアフリカ飢餓救援コンサート開催。
	昭和 60 年	○ 1 月 26 日初の健康まつり。 ○ 2 月中央公民館のテーブルライブラリーが開始。 ○ 3 月 14 日国道 50 号線小山～岩舟間バイパスが暫定二車線で開通。 ○ 3 月 14 日東北新幹線暫定上野駅始発として営業開始。 ○ 8 月 3 6 時間連続ソフトボール大会開催。
1986 年	昭和 61 年	○ 2 月 1 日大字乙女の一部を住居表示。

1987 年	昭和 62 年	○ 3 月小山市振興計画基本構想（61～70 年）及び前期基本計画（61～65 年）を策定。 ○ 4 月 1 日小山西高等学校開校。 ○ 4 月 1 日白鷗大学（経営学部）開校。 ○ 12 月 10 日新 4 号国道（鉢形～国道 50 号線間）が暫定二車線で開通。 ○ 3 月 16 日建設省宇都宮国道工事事務所小山出張所が開所。 ○ 3 月国土利用計画小山市計画を改定。（60～65 年）
1988 年	昭和 63 年	○ 4 月 3 日小山城南中学校開校。 ○ 1 月 6 日図書館コンピューター導入。 ○ 3 月 29 日小山聖苑完成。 ○ 4 月 5 日乙女中学校開校。 ○ 5 月 20 日消防本部豊田分署移転新築完成。 ○ 7 月 13 日船田章氏市長に初当選。 ○ 10 月 31 日中島橋開通。
1989 年	平成元年	○ 1 月 26 日小山市生涯教育推進本部設置。 ○ 2 月 27 日小山市庁舎別館完成。 ○ 4 月 1 日小山市まちづくり協会設立。 ○ 7 月 15 日延島小学校改築工事完成。 ○ 10 月 26 日小山市制 35 周年記念式典開催。 ○ 11 月 2 日人口 14 万人突破。
1990 年	平成 2 年	○ 11 月 23 日産業フェスティバル小山 35 開催。 ○ 3 月 6～11 日文化センターで「小山市ゆかりの美術展」が開かれる。 ○ 7 月 1 日老人福祉センター巡回バス運行開始。 ○ 9 月 15 日銀の店事業スタート。 ○ 10 月 3 日思川シンポジウム開催。
1991 年	平成 3 年	○ 10 月 14 日ビーフピア思川 in おやま開催。 ○ 3 月 12 日小山氏城跡鷲城跡、祇園城跡が国指定史跡となる。 ○ 3 月小山市振興計画後期基本計画を策定。（H3～H7 年） ○ 3 月国土利用計画小山市計画を改定。（H2～H7 年） ○ 3 月 25 日北部清掃センター改築工事が完成。 ○ 6 月 18 日岡儀平氏（中央町 2 丁目）が 108 歳で男性長寿日本一となる。 ○ 6 月 20 日東北新幹線が東京乗り入れを開始。 ○ 7 月 27・28 日第 1 回サマーフェスティバル開催。 ○ 8 月 3 日フェスタ・イン鬼怒川開催。 ○ 8 月 18 日小山・野木地区暴力追放総決起大会開催。 ○ 10 月 1 日体育施設使用予約オンライン化スタート。 ○ 10 月 9～14 日「小山市民友好訪中団」が遼寧省本溪市を訪問。 ○ 11 月 10 日～12 日中国本溪市人民代表大会の一行が市議会の招きで来市。
1992 年	平成 4 年	○ 2 月 4 日第 1 回小山市文化振興大会開催。

1993 年	平成 5 年	○ 3 月地域情報化に関する意識調査まとまる。 ○ 3 月小山市超長期ビジョン（西暦 2020 年に向けて）ができる。 ○ 3 月 2 日大字中久喜の一部（東ニュータウン）に住居表示を実施。 ○ 3 月 13 日「健康都市おやま」を宣言。 ○ 4 月 1 日小山市財務会計（電子決裁）システムがスタート。 ○ 4 月 1 日外国人相談窓口を開設。 ○ 4 月白鷗大学に法学部新設。 ○ 4 月 8 日新 4 号国道全線開通。 ○ 7 月 1 日平和都市宣言。 ○ 7 月 5 日船田章氏市長に再選。 ○ 7 月 30 日観覧橋が 4 車線化全面開通。 ○ 8 月 6 日全日本少年軟式野球大会で桑中クラブが全国制覇。 ○ 8 月 19 日全国中学生重量挙げ選手権大会で小山の中学生が 4 階級制覇。 ○ 10 月栃木県庁小山庁舎が開設、小山保健所など 5 つの事務所が入所。 ○ 12 月 1 日～3 日「中国・本溪画家十人展」が文化センターで開催される。 ○ 12 月 17 日小山駅新幹線停車本数増便連絡協議会設立。
1994 年	平成 6 年	○ 3 月小山市地域情報化構想を策定。 ○ 3 月 11 日国道 50 号小山高架線 2 車線併用開始。 ○ 4 月市庁舎完全週休二日制実施。 ○ 4 月 1 日小山市みどりのまちづくり条例制定。 ○ 4 月 5 日絹保育所が改築され開所。 ○ 4 月 22 日中央図書館が開館。 ○ 6 月 12・13 日県民の日記念行事「ハートフルおやま' 93」開催。 ○ 7 月 16 日県立県南体育館開館、ふれあい橋オープン。 ○ 8 月平成 5 年度全国高等学校総合体育大会、栃木県開催。小山市においてバスケットボール、ウェイトリフティング競技が実施される。 ○ 9 月 3 日県南公設地方卸売市場開場。
1995 年	平成 7 年	○ 1 月在宅重度心身障害者デイケア事業スタート。 ○ 4 月 1 日小山市都市景観条例施行される。 ○ 4 月 1～3 日小山バルーンフェスタ開催。 ○ 6 月 9 日駅西再開発ビル「ロブレ」オープン。 ○ 7 月 28 日第 76 回全国高等学校野球選手権栃木大会で小山高等学校が足利高等学校を 8－3 で破り、18 年ぶり 3 度目の甲子園出場となる。 ○ 10 月 24 日おやま百景ガイドブック初版発行。 ○ 1 月 17 日発生した阪神大震災の救助活動のため 1 月 23～25 日小山消防署員が神戸市へ出動。 ○ 2 月 10 日城南高校線立体交差が開通。 ○ 4 月 5 日～30 日阪神大震災救助活動へ県を代表して、市職員 1 名が神戸市長田区へ 25 日間派遣され救助活動を行う。

1996 年	平成 8 年	○ 6 月 25 日市文化センターで NHK「のど自慢」の生中継が行われる。 ○ 7 月 26 日 NHK 夏期巡回ラジオ体操が小山総合運動公園で開催される。 ○ 8 月 10 日国道 50 号線の小山市内が全線 4 車線化となる。 ○ 10 月 1 日墓園やすらぎの森開園。 ○ 10 月 16 日小山市の人口 15 万人となる（人口推計）15 万人目は塚崎の直井克敏さんの長男祐太ちゃん、市からベビーカーを贈る。 ○ 10 月第 10 回国民文化祭を栃木県で開催。 小山市において 10 月 29 日「民謡・民舞の祭典」・11 月 15 日「道と文化のシンポジウム」が開催される。 ○ 11 月 8 日寺野東遺跡が国指定史跡となる。以後、史跡整備事業に着手。 ○ 12 月 1 日 JR 近距離新幹線「なすの」誕生。 ○ 12 月 1 日市庁舎で分煙化を実施。 ○ 3 月第 4 次小山市振興計画基本構想（H8～17 年）及び前期基本計画（H8～12 年）を策定。 ○ 7 月 8 日船田章氏市長に 3 選。 ○ 7 月 15 日絹地区を突風（ダウンバースト）が襲い、多くの被害が発生。 ○ 8 月アトランタオリンピックに本市出身の神山雄一郎選手（自転車競技）と堀越典昭選手（ウェイトリフティング）が出場。 ○ 8 月市内の中学生 11 人が被爆地広島市を訪問し、平和記念式典に参列。 ○ 10 月 1 日小山東出張所開設。 ○ 10 月 1 日ごみの 7 分別収集がスタート。 ○ 10 月 1 日中央清掃センター粗大ごみ処理施設竣工、操業開始。 ○ 10 月 4 日松原大橋開通。 ○ 10 月 27 日城東公園のまちかど広場の完成記念イベント開催。 ○ 11 月 13 日「災害時における小山市と葛飾区との総合応援に関する協定」が締結され葛飾区との交流が始まる。
1997 年	平成 9 年	○ 11 月 23 日県南公設地方卸売市場で市場まつり。 ○ 1 月県内で初めて個人情報（レセプト）の開示を行う。 ○ 3 月 8 日城南第二土地区画整理事業地域の本換地に伴い、新町名東城南・西城南が誕生。 ○ 4 月 1 日市環境基本条例が施行される。 ○ 4 月 6 日日曜日の窓口サービス業務開設。 ○ 5 月 18 日羽川西小学校が学校環境緑化コンクールで文部大臣賞を受賞。 ○ 8 月 1 日小山総合公園にデイキャンプ場バーベキュー広場がオープン。
1998 年	平成 10 年	○ 12 月 1 日（財）小山市体育協会設立。 ○ 3 月国土利用計画小山市計画を改定。（H10～17 年） ○ 4 月 1 日やはた保育所開所。 ○ 4 月 1 日小山市自転車等の放置防止等に関する条例施行。 ○ 4 月 25 日国史跡乙女不動原瓦窯跡の整備事業が終了し、「乙女かわ

		らの里公園」開園。 ○7月6日栃木・小山合併協議会の初会合が小山グランドホテルで開かれる。 ○8月19日大相撲小山場所が県南体育館で行われる。 ○8月30日大雨により大雨災害対策本部が設置され、下生井地区等に避難勧告がだされ374人が市内小中学校に避難。 ○10月17日第1回小山市総合防災訓練を市役所第2駐車場及び小山第一小学校校庭で実施。 ○10月22日市環境課に電気自動車が納入される。
1999 年	平成 11 年	○1月13日バンコク・アジア大会自転車男子スプリント競争で本市出身の神山雄一郎選手が金メダルを獲得。 ○2月市内中学生による模擬議会が市役所議場で行われる。 ○3月20日小山地域振興券が市内各所において交付される。 ○3月31日小山市ホームページ開設。 ○4月1日小山市ふれあい健康センターオープン。 ○4月17日使用済こいのぼりを集め小山総合公園において100匹のこいのぼりを遊泳させる。 ○6月1日市民から直接市長へメッセージを送る「市長への手紙」を開設。 ○10月1日市内高校生の取材編集による広報おやま「ステップバイステップ」が発行される。 ○8月5日～7日広島平和記念式典小山市中学生派遣団同行収録。 (後日とちぎテレビで放映) ○9月20日郵政省から平成11年度上期のテレトピア構想モデル地域の指定を受ける。 ○9月21日～23日市長が間々田中・小山第三中・豊田中を訪問し、授業を行う。(後日とちぎテレビで放映)
2000 年	平成 12 年	○11月緑の基本計画を策定。 ○3月老人保健福祉計画(第2次計画)を策定。 ○4月1日テレビ小山放送開局。 ○5月28日石ノ上河川広場で初めての水防訓練実施。 ○7月1日国指定史跡寺野東遺跡の保存整備事業がはじまる。 ○7月16日市長選挙で大久保寿夫氏当選。 ○8月15日、9月24日の集中豪雨で若木町3丁目、喜沢を中心に市内でそれぞれ91件、73件の床下浸水。 ○9月シドニーオリンピックのケイリンに本市出身の神山雄一郎選手が出場。 ○10月1日から市民課窓口業務午後7時まで延長。 ○10月12日小山総合公園内に県立温水プール館オープン。 ○10月14日都市整備公団施行による区画整理事業完了に伴い新町名美しが丘誕生。 ○11月より中央図書館・博物館の祝日開館実施。

2001 年	平成 13 年	○12 月よりテレビ小山が、インターネット接続を開始。 ○12 月 31 日新世紀カウントダウン IN OYAMA を開催。 ○4 月 1 日中央公民館の休日窓口業務開始。 ○4 月市政モニター制度開始。 ○5 月（財）小山市体育協会ホームページ開設。 ○5 月「田んぼの学校」が中小学校で開校。 ○6 月市民ポスト設置。 ○6 月 1 日小山市民賞第 1 号として、川上知子さん（重量挙げ）を表彰。 ○6 月小山市男女共同参画都市を宣言。 ○6 月 30 日城北区画整理事業完了に伴い、城北・駅東通り 3 丁目と町名が変更される。 ○8 月 7 日小山氏城跡中久喜城が国指定史跡となる。鷲城跡、祇園城跡の指定範囲広がる。 ○9 月 2 日栃木県小山市総合防災訓練が石上河川広場で実施される。 ○10 月小山市中学生中国派遣団が中国本溪市を訪問。 ○12 月 3 日小山駅始発新幹線の運行開始。
2002 年	平成 14 年	○12 月 15 日桜の里親記念植樹祭を実施。 ○1 月汚泥再生処理センターが竣工。 ○2 月顔写真付の小山市民証の発行を開始。 ○3 月 19 日小山氏城跡、鷲城跡、祇園城跡の指定範囲広がる。 ○3 月 31 日地域女性史「小山に生きた女性たち」を発刊。 ○4 月 1 日生涯学習センターで市民課窓口業務を開始。 ○4 月男女共同参画センター・勤労者福祉センター・ボランティア支援センターが開設。 ○4 月 4 日生涯学習センターに「まちなか情報」検索パソコン 3 台を設置。 ○4 月地域学習室を「子ども情報科学館」として土・日開放。 ○6 月 1 日 8 名の女性消防団員が誕生。 ○6 月 17 日地元産小山和牛の学校給食への導入。 ○6 月台風 6 号により小宅橋が流失し、押切、中里、島田、塩沢地区等が冠水。 ○7 月学校週 5 日制に伴い、小中学校の図書室・各公民館の開放、体育施設の無料化を実施。 ○8 月小山西高校が甲子園初出場・初勝利。 ○9 月 20 日摩利支天塚古墳の指定範囲広がる。 ○10 月 1 日市民病院でオーダーリングシステム導入・2 次救急医療体制の整備。 ○10 月オーストラリア・ケアンズ市を訪問し教育、文化交流に合意。 ○10 月 19 日女性模擬議会を開催。 ○11 月 JR 思川駅旅客上屋が完成。
2003 年	平成 15 年	○1 月 6 日小山市地域イントラネットが運用開始。 ○1 月 20 日コミュニティ道路愛護会（須賀神社参道）が道路の里親

2004 年

平成 16 年

- 第 1 号に認定。
- 1 月 24 日小山の地酒統一ブランド名が「小山評定」に決定。
 - 3 月親しむ通り愛称決定。
 - 3 月 17 日国道 50 号の市内全線 4 車線化が完了。
 - 3 月 20 日寒川小地内に市独自の地下水観測所を設置。
 - 4 月市立小中学校・保育所で敷地内全面禁煙を実施。
 - 4 月学校給食に地元産の米を使用した米パンを導入。
 - 4 月休日納税窓口相談を開設。
 - 4 月 5 日民設民営化第 1 号「こぐま保育園」が開園。
 - 5 月オールおやま食材利用の日を設定。
 - 5 月 17 日第 1 回小山ブランド祭りを開催。
 - 市のマスコットキャラクターの愛称がピンキーとセグピーに決定。
 - 7 月 1 日小山聖苑の通夜時間を延長。
 - 8 月 26 日～9 月 2 日第 1 回中学生オーストラリア派遣団がケアンズ市を訪問。
 - 9 月 18 日中心市街地活性化事業で、白鷗大学生運営のジャズ喫茶「OMO I G A W A C A F E」がオープン。
 - 10 月 3 日祇園城跡（旧思水荘跡）の愛称が小山御殿広場に決定。
 - 10 月 12 日中小「NHK 全国学校音楽コンクール」で銀賞を受賞。
 - 10 月 19 日中心市街地活性化事業で「まちかど美術館」がオープン。
 - 10 月 23 日間々田公民館が優良公民館として文部科学大臣表彰を受賞。
 - 11 月 24 日思川を遡上してきた鮭で調理した鮭鍋を楽しむ「第 1 回思川サケまつり」を開催。
 - 12 月 18 日小山駅とロブレが連絡橋でつながる。
 - 12 月 26 日台風 6 号で流失した小宅橋が開通。
 - 1 月 1 日「小山市生活安全に関する条例」が施行。
 - 1 月 25 日市制 50 周年記念オープン事業、市民能「小山安犬」を 600 年ぶりに復活させ公演。
 - 3 月 1 日駅西循環バスの実験運行を開始。
 - 3 月 3 日大字羽川の大沼が、大沼親水公園として整備される。
 - 3 月 31 日「小山市長期ビジョン・新おやま 21 ビジョン」（平成 16～32 年）を策定。
 - 4 月 1 日「小山市環境美化条例」及び「小山市人権尊重の社会づくり条例」が施行。
 - 4 月 24 日小山東部第一土地区画整理事業地内に「しいの実公園」・「犬塚南公園」が開園。
 - 5 月 15 日市制 50 周年記念式典・船田章前市長名誉市民顕彰式を開催。
 - 5 月 15 日おやま百景ガイドブック改訂版発行。
 - 5 月 15 日本格はとむぎ焼酎「小山物語」を発売。
 - 5 月 22・23 日市民オペラ「小山物語」を公演。

2005 年

平成 17 年

- 6 月パブリックコメント制度を導入。
- 6 月 4 日し尿処理施設「小山広域クリーンセンター」が完成。
リサイクル堆肥「すくすく君」を生産。
- 6 月 12・13 日 2 年間をかけてグラウンドワークで整備を進めた
「ほたるの館」が小山総合公園に完成、「第 1 回ほたるの館祭り」
を開催。
- 7 月 1 日「小山市男女共同参画推進条例」が施行。
- 7 月 25 日大久保市長再選される。
- 9 月 5 日小山を PR する「小山評定ふるさと大使」を創設。
- 9 月 18・19 日市制 50 周年記念事業「五街道どまん中サミット間々
田宿大会」が開催され、袋井市・檜川村・大月市・大田原市・黒磯
市・小山市が参加。
- 10 月 1～11 日市制 50 周年記念企画美術展「山中仁太郎・飯田張 2
人展」を、市生涯学習センターにおいて開催。
- 10 月 17 日「第 1 回ハンドベルフェスタ in OYAMA」を市文化セン
ターで開催。
- 10 月 25 日プレミアム付小山市共通商品券を発売。
- 10 月 30 日国指定史跡「寺野東遺跡」の史跡整備が完了し「おやま
縄文まつりの広場」として開園。「第 1 回寺野東遺跡縄文まつり」
を開催。
- 11 月 6 日市制 50 周年記念事業「第 14 回小山市文化振興大会」におい
て、舞踊劇「花は散り水は流れる」を上演。
- 11 月 17 日小山駅東口にエスカレーターを設置。
- 2 月 2 日小山御殿広場案内解説板及び標柱を設置。
- 3 月 1 日県内初「遠隔相談窓口システム」の運用開始。
- 3 月 2 日小山氏城跡、鷲城跡、祇園城跡の指定範囲広がる。
- 3 月 15 日小山城南中校舎増築工事が完成。
- 3 月 25 日喜沢第二雨水幹線新設工事が完成。
- 3 月 31 日第 4 次小山市行政改革大綱を策定。
- 4 月 1 日小学校英語教育構造改革特区事業の認定を受け、市内 9 小
学校を研究推進校として、「英語科」の授業を実施。
- 4 月 1 日「小山市地区まちづくり条例」および「小山市開発行為の
基準に関する条例」が施行。
- 4 月 23 日城南公園がオープン。
- 5 月 16 日市民課自動受付システムの運用開始。
- 6 月 16 日中央町 2 丁目地内に子育て支援センターを開所。
- 7 月 1 日市内 5 路線で地域コミュニティバスの実験運行を開始。
- 7 月 8 日農業集落排水事業延島地区処理施設が供用開始。
- 7 月 16 日小山駅で「小山駅開業 120 周年記念イベント」が開催。
- 7 月 20 日美田中校舎改築工事が完成。
- 8 月 10 日国土交通省が道の駅「思川」の登録を承認。
- 8 月 19 日シニア元気回復トレーニングセンターが開所。

2006 年

平成 18 年

- 10 月 1 日国勢調査で人口が 160,150 人となり、県内第 2 位の都市となる。
- 10 月 3 日「おやまブランドピンキーちゃん人形」販売開始。
- 10 月 6 日中央図書館内にビジネス支援コーナーを開設。
- 11 月 1 日小児初期救急医療を開始。
- 11 月 1 日県道小山結城線延伸部が開通。
- 11 月 5 日第 2 回ハンドベルフェスタ in OYAMA を市文化センターで開催。
- 11 月 27 日中国紹興市と「友好交流関係を発展させる覚書」を締結。
- 12 月 17 日とちぎ元気フォーラム in 小山が県南体育館で開催される。
- 1 月 7 日土・日曜日も業務を行う小山城南出張所が開所。
- 1 月 13 日 JR 宇都宮線の横倉踏切拡幅改修工事（三峯地内）が完成。
- 1 月 13 日史跡寺野東遺跡資料館が入館者 1 万人を達成。
- 2 月 2 日羽川の大沼トイレを開設。
- 2 月 4 日間々田第二学童保育館が開所。
- 3 月 4 日、5 日古川龍生展において「小山の日」を開催。
- 3 月 5 日移動式天体望遠鏡搭載車「ほっしー★OYAMA」初披露。
- 3 月 31 日 JR 間々田駅東西口エレベーターの開通と東口の公衆トイレが竣工。
- 3 月 31 日小山市総合基本構想・基本計画（H18～22 年）を策定。
- 4 月 1 日市民課窓口を土曜・日曜日も開設。
- 4 月 1 日英語教育推進特区事業を市内全小学校で実施。
- 4 月 1 日「小山市文化芸術振興条例」が施行。
- 4 月 1 日市内 30 施設において指定管理者制度を導入。
- 4 月 1 日保健・福祉センターに保健福祉部の窓口を一元化し、「福祉に関する総合案内」を新設。
- 4 月 22 日下生井桜づつみ整備事業が完成。
- 4 月 15 日平成公園がオープン。
- 4 月 29 日道の駅「思川」がグランドオープン。
- 5 月 15 日豪州ケアンズ市において姉妹都市盟約書に調印。
- 6 月 3 日 NHK 公開セミナー「大河ドラマ・功名が辻」が、小和田哲男氏を講師に招いて、白鷗ホールで開催。
- 7 月 1 日城東・中久喜循環バスの実験運行を開始。
- 7 月 1 日絹ふれあいの郷を開所。
- 7 月 13 日紹興市教育友好訪問団が来日。
- 8 月 21 日酷暑対策として全小・中学校に扇風機を設置。
- 9 月 20 日紹興市に高校生 5 人を初めて派遣。
- 9 月 23 日第 1 回おやま開運まつりを開催。
- 10 月 1 日資源系廃棄物の無断回収禁止条例の罰則規定を施行。
- 10 月 20 日自治会連合会設立 40 周年記念式典挙行。
- 10 月 22 日第 3 回ハンドベルフェスタ in OYAMA を市文化センターで開催。

2007 年

平成 19 年

- 10 月 29 日小山城南中で創立 20 周年記念式典挙行。
- 10 月 29 日小山NHK大河ドラマ「功名が辻」で、史実「小山評定」が大きく取り上げられ、全国に放映される。
- 10 月 30 日日本経済新聞社の調査で、本市の行政サービスが、全国 764 市区で第 31 位に評価される。
- 11 月 11 日羽川西小で創立 30 周年記念式典挙行。
- 1 月 4 日市民課、桑出張所、博物館に証明書自動交付機システムを導入。
- 3 月 12 日羽川地区整備事業（市道 1513 号線改良工事）完成。
- 3 月 23 日小山市と白鷗大学が、相互の密接な連携と協力により、地域社会の発展を目指す協定書に調印。
- 3 月 24 日まちの駅をオープン。
- 3 月 25 日悠遊公園・どんぐり山公園がオープン。
- 3 月 28 日 JR 水戸線雨ヶ谷踏切で、歩道新設と踏切改良が完成。
- 3 月 31 日文化センターリニューアル工事が完成。
- 3 月 31 日市内全域に、光ケーブルによるケーブルテレビ放送施設を整備。
- 4 月 1 日市内 9 施設において、指定管理者制度を導入。
- 4 月 1 日民間建築物露出吹付けアスベスト対策の助成スタート。
- 4 月 1 日農地・水・環境保全向上対策がスタート。
- 4 月 1 日教育委員会事務局を中央市民会館に移転。
- 4 月 6 日美田中新屋内運動場が完成。
- 4 月 11 日文書館をオープン。
- 5 月 13 日ひまわり広場がオープン。
- 5 月 26 日青蓮寺公園・西坪公園がオープン。
- 6 月 1 日安全安心等情報をメール配信スタート。
- 6 月 16 日穂積小で創立 90 周年・新校旗樹立記念式典挙行。
- 6 月 18 日大谷北小新プール完成式典挙行。
- 7 月 10 日農業集落排水事業福良地区処理施設が供用開始。

歴 代 二 役 (三 役)

平成19年4月1日現在
秘 書 広 報 課 調

市 長

代	氏 名	在 任 期 間
市長職務執行者	高 崎 秀 雄	昭和29年 3月31日 ~ 昭和29年 5月17日
初代~ 4代	山 中 泰 輔	昭和29年 5月18日 ~ 昭和45年 5月17日
5代~ 8代	栗 田 政 夫	昭和45年 5月18日 ~ 昭和59年 8月25日
9 代	小 林 武 夫	昭和59年 9月30日 ~ 昭和63年 6月11日
10代~12代	船 田 章	昭和63年 7月31日 ~ 平成12年 7月30日
13代~	大久保 寿 夫	平成12年 7月31日 ~ 現 在

副 市 長

代	氏 名	在 任 期 間
初代~	小久保 吉 雄	平成19年 4月 1日 ~ 現 在

助 役

代	氏 名	在 任 期 間
初 代	山 中 泰 輔	昭和29年 3月31日 ~ 昭和29年 5月17日
2代~ 3代	渡 辺 留 吉	昭和30年 3月22日 ~ 昭和38年 3月21日
4 代	中 田 邦太郎	昭和38年 5月11日 ~ 昭和40年 3月31日
4 代	栗 田 政 夫	昭和38年 5月11日 ~ 昭和40年 3月31日
5 代	鈴 木 長 治	昭和42年 7月 5日 ~ 昭和46年 7月 4日
6代~ 9代	小 川 仁	昭和47年 4月 1日 ~ 昭和63年 3月31日
8代~ 9代	長 瀬 親次郎	昭和56年10月 1日 ~ 昭和59年 8月25日
10 代	荒 井 龍	昭和63年12月23日 ~ 平成 4年12月22日
11代~12代	稲 葉 芳 雄	平成 5年 3月 1日 ~ 平成12年 7月30日
13代~14代	松 本 久 男	平成13年10月 1日 ~ 平成19年 3月31日

収 入 役

代	氏 名	在 任 期 間
初代~ 4代	古 川 好 一	昭和30年 3月 8日 ~ 昭和46年 3月 7日
5代~ 6代	福 田 督 次	昭和46年 8月20日 ~ 昭和54年 8月19日
7 代	高 岩 茂	昭和54年 8月20日 ~ 昭和58年 8月19日
8代~10代	島 村 侃 志	昭和62年 4月 1日 ~ 平成11年 3月31日
11 代	堀 木 彰	平成11年 7月 1日 ~ 平成12年 7月30日
12代~13代	宮 田 登志雄	平成13年10月 1日 ~ 平成19年 3月31日

歴代正副議長

平成19年4月1日現在

議 事 課 調

議 長

代	氏 名	在 任 期 間
初代～ 2代	石 崎 亀三郎	昭和29年 4月 1日 ～ 昭和34年 3月30日
3 代	坪野谷 久 平	昭和34年 4月13日 ～ 昭和36年 4月15日
4 代	金 子 茂	昭和36年 4月15日 ～ 昭和38年 4月29日
5代～ 6代	阿久津 治 夫	昭和38年 5月10日 ～ 昭和42年 4月29日
7 代	松 本 清 一	昭和42年 5月12日 ～ 昭和44年 6月20日
8代～ 9代	金 子 茂	昭和44年 6月20日 ～ 昭和46年 4月29日
10 代	高 島 一 郎	昭和46年 5月13日 ～ 昭和48年 6月18日
11代～12代	長 瀬 親次郎	昭和48年 6月18日 ～ 昭和50年12月22日
13 代	植 野 保 正	昭和50年12月22日 ～ 昭和53年 9月29日
14 代	岸 好	昭和53年 9月29日 ～ 昭和54年 4月29日
15 代	長 瀬 親次郎	昭和54年 5月15日 ～ 昭和56年 6月25日
16 代	植 野 保 正	昭和56年 6月25日 ～ 昭和58年 4月29日
17 代	野 村 春 夫	昭和58年 5月17日 ～ 昭和60年 3月13日
18代～19代	橋 本 金次郎	昭和60年 3月13日 ～ 昭和63年 3月14日
20 代	峰 崎 茂	昭和63年 3月30日 ～ 平成 元年 9月11日
21 代	横 塚 進	平成 元年 9月11日 ～ 平成 3年 4月29日
22 代	左 巻 秀 三	平成 3年 5月17日 ～ 平成 5年 6月25日
23 代	渡 辺 直 治	平成 5年 6月25日 ～ 平成 7年 4月29日
24 代	森 田 総 一	平成 7年 5月17日 ～ 平成 9年 6月23日
25 代	木 戸 健 志	平成 9年 6月23日 ～ 平成11年 4月29日
26 代	本 橋 徳太郎	平成11年 5月18日 ～ 平成13年 6月27日
27 代	椎 名 寛	平成13年 6月27日 ～ 平成13年12月21日
28 代	大 山 典 男	平成13年12月21日 ～ 平成15年 4月29日
29 代	手 塚 茂 利	平成15年 5月20日 ～ 平成17年 6月22日
30 代	山 口 忠 保	平成17年 6月22日 ～ 平成19年 4月29日
31 代	松 島 不 三	平成19年 5月16日 ～ 現 在

副 議 長

代		氏 名	在 任 期 間					
初	代	山 中 徹 雄	昭和29年	4月 1日	～	昭和30年	3月30日	
2	代	中 村 斌	昭和30年	4月11日	～	昭和34年	3月30日	
3代～	4代	阿久津 治 夫	昭和34年	4月13日	～	昭和38年	4月29日	
5	代	速 水 進	昭和38年	5月10日	～	昭和40年	6月16日	
6	代	松 本 清 一	昭和40年	6月16日	～	昭和42年	4月29日	
7	代	塚 原 彪	昭和42年	5月12日	～	昭和44年	6月20日	
8	代	高 島 一 郎	昭和44年	6月20日	～	昭和45年	6月19日	
9	代	岡 本 司三郎	昭和45年	6月19日	～	昭和46年	4月29日	
10	代	岸 好	昭和46年	5月13日	～	昭和48年	6月18日	
11	代	小 林 武 夫	昭和48年	6月18日	～	昭和50年	3月31日	
12	代	植 野 保 正	昭和50年	5月14日	～	昭和50年12月22日		
13	代	大 出 勝 久	昭和50年12月22日	～	昭和53年	9月29日		
14	代	橋 本 金次郎	昭和53年	9月29日	～	昭和54年	4月29日	
15	代	鶴 見 勝 二	昭和54年	5月15日	～	昭和56年	6月25日	
16	代	峰 崎 茂	昭和56年	6月25日	～	昭和58年	4月29日	
17	代	関 口 育 男	昭和58年	5月17日	～	昭和60年	3月13日	
18	代	渡 辺 直 治	昭和60年	3月13日	～	昭和62年	4月29日	
19	代	峰 崎 茂	昭和62年	5月14日	～	昭和63年	3月30日	
20	代	森 田 総 一	昭和63年	3月30日	～	平成 元年	9月11日	
21	代	西 村 弘	平成 元年	9月11日	～	平成 3年	4月29日	
22	代	糸 井 助三郎	平成 3年	5月17日	～	平成 5年	6月25日	
23	代	伊 沢 範 夫	平成 5年	6月25日	～	平成 7年	4月29日	
24	代	松 島 偃	平成 7年	5月17日	～	平成 9年	6月23日	
25	代	本 橋 徳太郎	平成 9年	6月23日	～	平成11年	4月29日	
26	代	大 山 典 男	平成11年	5月18日	～	平成13年	6月27日	
27	代	星 野 日出男	平成13年	6月27日	～	平成15年	4月29日	
28	代	石 島 政 己	平成15年	5月20日	～	平成17年	6月22日	
29	代	石 渡 丈 夫	平成17年	6月22日	～	平成19年	4月29日	
30	代	野 村 広 元	平成19年	5月16日	～	現 在		

平成 19 年 4 月 1 日現在
教育委員会総務課 調

市制施行以降の教育委員

氏 名	在 任 期 間
塚 原 隆 二	昭 29 . 3 . 31 ~ 昭 30 . 3 . 30
中 村 斌	昭 29 . 3 . 31 ~ 昭 30 . 3 . 30
寺 岡 与 七	昭 29 . 3 . 31 ~ 昭 30 . 3 . 30
小 池 知 明	昭 29 . 3 . 31 ~ 昭 31 . 9 . 30
松 浦 盛三郎	昭 29 . 3 . 31 ~ 昭 32 . 9 . 30
鈴 木 長 治	昭 29 . 3 . 31 ~ 昭 42 . 7 . 4
野 住 生	昭 30 . 3 . 31 ~ 昭 33 . 9 . 30
小 池 安 夫	昭 30 . 3 . 31 ~ 昭 38 . 9 . 30
宇 井 浩 道	昭 30 . 3 . 31 ~ 昭 51 . 9 . 30
永 藤 義 雄	昭 32 . 10 . 1 ~ 昭 40 . 9 . 30
山 中 勲	昭 33 . 10 . 1 ~ 昭 47 . 6 . 20
渡 辺 佐 一	昭 38 . 10 . 1 ~ 昭 53 . 9 . 30
山 口 淳 一	昭 40 . 10 . 1 ~ 昭 47 . 10 . 29
坂 本 重 造	昭 42 . 7 . 5 ~ 昭 46 . 6 . 30
神 川 操	昭 46 . 9 . 1 ~ 昭 50 . 12 . 23
杉 田 房 吉	昭 47 . 7 . 1 ~ 昭 57 . 9 . 30

氏 名	在 任 期 間
宮 田 清	昭 48 . 3 . 1 ~ 昭 56 . 9 . 30
古 谷 一 夫	昭 51 . 10 . 1 ~ 平 2 . 2 . 15
慶 野 恒 徳	昭 51 . 4 . 5 ~ 平 4 . 9 . 30
東 條 挙 明	昭 53 . 10 . 1 ~ 平 3 . 9 . 30
菅 沼 浩	昭 56 . 10 . 1 ~ 平 9 . 9 . 30
田 波 子 平	昭 57 . 10 . 1 ~ 平 10 . 9 . 30
小 山 正 義	平 2 . 6 . 15 ~ 平 6 . 4 . 20
近 藤 稔	平 4 . 10 . 1 ~ 平 12 . 9 . 30
石 倉 洋 子	平 3 . 10 . 1 ~ 平 14 . 2 . 3
菅 沼 基 訓	平 6 . 7 . 1 ~ 平 14 . 3 . 31
福 井 崇 昌	平 9 . 10 . 1 ~ 現 在
神 山 宜 久	平 10 . 10 . 1 ~ 現 在
福 地 尚 美	平 13 . 4 . 1 ~ 現 在
新 井 泉	平 14 . 4 . 1 ~ 現 在
清 水 悟	平 14 . 4 . 1 ~ 現 在

歴代教育委員長

氏 名	在 任 期 間
小 池 知 明	昭 29 . 3 . 31 ~ 昭 31 . 9 . 30
松 浦 盛三郎	昭 31 . 10 . 1 ~ 昭 32 . 9 . 30
野 住 生	昭 32 . 10 . 1 ~ 昭 33 . 9 . 30
小 池 安 夫	昭 33 . 10 . 1 ~ 昭 34 . 9 . 30 昭 37 . 10 . 1 ~ 昭 38 . 9 . 30
宇 井 浩 道	昭 34 . 10 . 1 ~ 昭 35 . 9 . 30 昭 38 . 10 . 1 ~ 昭 51 . 9 . 30
永 藤 義 雄	昭 35 . 10 . 1 ~ 昭 36 . 9 . 30
山 中 勲	昭 36 . 10 . 1 ~ 昭 37 . 9 . 30

氏 名	在 任 期 間
渡 辺 佐 一	昭 51 . 10 . 1 ~ 昭 53 . 9 . 30
古 谷 一 夫	昭 53 . 10 . 1 ~ 平 2 . 2 . 15
菅 沼 浩	平 2 . 6 . 25 ~ 平 9 . 9 . 30
田 波 子 平	平 9 . 10 . 1 ~ 平 10 . 9 . 30
石 倉 洋 子	平 10 . 10 . 1 ~ 平 14 . 2 . 3
福 井 崇 昌	平 14 . 3 . 8 ~ 現 在

歴代教育長

氏 名	在 任 期 間
鈴 木 長 治	昭 29 . 3 . 31 ~ 昭 42 . 7 . 4
坂 本 重 造	昭 42 . 7 . 5 ~ 昭 46 . 6 . 30
神 川 操	昭 46 . 9 . 1 ~ 昭 50 . 12 . 23
慶 野 恒 徳	昭 51 . 4 . 5 ~ 平 3 . 3 . 31

氏 名	在 任 期 間
小 山 正 義	平 3 . 4 . 1 ~ 平 6 . 4 . 20
菅 沼 基 訓	平 6 . 7 . 1 ~ 平 14 . 3 . 31
清 水 悟	平 14 . 4 . 1 ~ 現 在

職員定数 1,888 人
平成19年4月1日現在
理事調査係

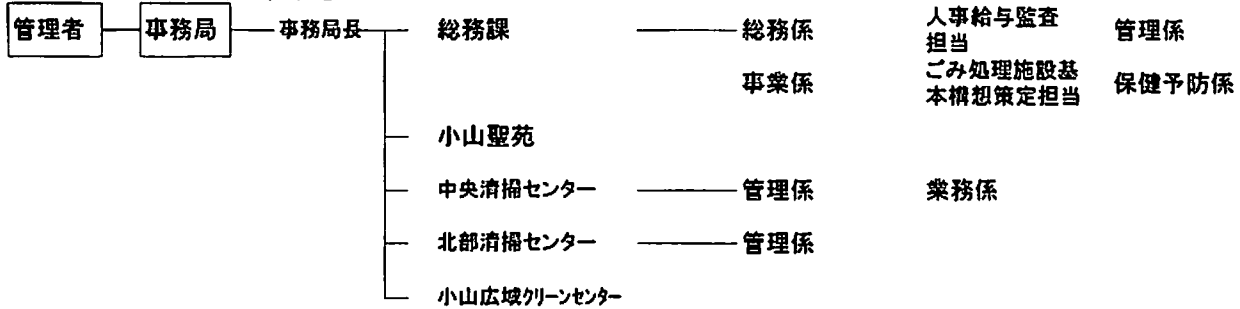




【参考】

平成19年4月1日現在

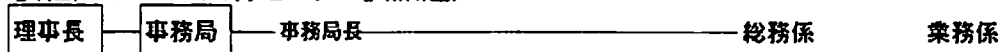
【小山広域保健衛生組合】(出向)



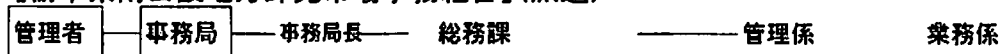
【社会福祉協議会】(派遣)



【(社)シルバー人材センター】(派遣)



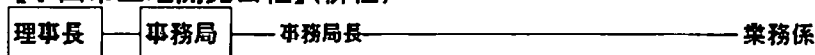
【栃木県南公設地方卸売市場事務組合】(派遣)



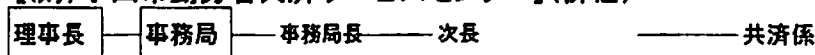
【(財)小山市まちづくり協会】(派遣)



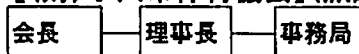
【小山市土地開発公社】(併任)



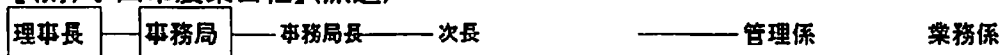
【(財)小山市勤労者共済サービスセンター】(併任)



【(財)小山市体育協会】(派遣)



【(財)小山市農業公社】(派遣)



【他自治体派遣等職員】(派遣等)

栃木県派遣(消防総務課付)

休職(職員活性課付)